

結果報告 ①

2310117 令和5年度神戸川神門沖地区軟弱地盤対策工事

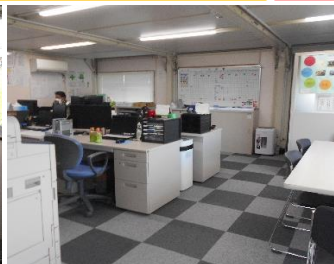


けんせつ小町パトロール隊として、安全衛生面のパトロールを行いました。

現場事務所は、他現場と共同で使用されているため、大人数で狭いですが、備品等は整理整頓されており、快適に過ごせるように空気清浄機や加湿器等の設備を整えておられました。また、水回りは清潔に保たれており、ごみの分別を適切に行っておられましたので、清掃が行き届いていました。

現場事務所には、現場にあるWEBカメラの映像が見れるモニターを設置されていました。これにより、現場の状況をリアルタイムで把握することができます。また、異常出水時の河川の状況も見ることが出来ます。【工事進捗率:0.1%】

工事概要の説明



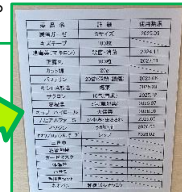
室内には可愛い玄関マットにスリッパが置いてありました。情報漏洩しないようシュレッターも設置してありました。



WEBカメラ



救急箱には薬品一覧表がありました。



現場事務所出入口は、屋根付きのスペースを広く設けており、トイレ、喫煙所、洗面台、収納棚、担架が設置されていました。

トイレの前に目隠しが設置しており、大きな洗面台に鏡も設置しておられました。女性には嬉しい配慮です。



【指摘事項】食器棚の扉が開いていました。棚の物品が落下しないためにも扉を閉めて下さい。



【指摘事項】現場事務所トイレ前に、灯油タンクと雪かきスコップが置いてありました。適切な場所での保管して下さい。



【指摘事項】現場事務所周辺を囲ってある青ネットが垂れているので補修して下さい。また、資材には資材置場として囲いと明示して下さい。



〈現場および現場周辺の様子〉



この現場は、神戸川堤防の堤防裏法尻付近（堤内地側付近）において軟弱地盤対策として広幅鋼矢板を施工する工事です。これにより、堤防体である築堤盛土の土圧による地盤沈下から近隣住宅を守ることができます。

今回は、広幅鋼矢板（45H型）L=35mをウォータージェット併用鋼矢板圧入工法により施工を行います。現在は準備工として沈砂池を設置しておられました。

この工法は、従来の打撃による工法に比べて、騒音・振動を抑えることができます。施工時に汚く水が出てきますが、汚く水をポンプで吸い上げ、4層式の沈砂池にて泥と水に分けて、上澄のキレイな水を神戸川へ流します。

工事説明の際に、現地の写真に3Dモデルを活用した施工イメージ図を見せていただきました。平面図で説明させるより立体的なイメージが目に見えるのでとても分かりやすかったです。

準備工



施工イメージ図



4層式沈砂池



現場休憩所は、掲示物が見やすいように掲載されており、備品等も整理整頓が行き届いていました。また、キレイな状態を維持するために、整理整頓を促す注意喚起がしてありました。

整理整頓



現場は、施工箇所を青ネットで囲い、カラフルな注意喚起旗で安全施設を整えておられました。特に、段差部分に分かりやすい黄色いスロープの設置、工事看板に保護具の着用を確認できる姿鏡の設置が印象的でした。

休憩所には水道がないため、空気から水を作り出す装置を設置しておられました。隣にはAEDが設置してありました。



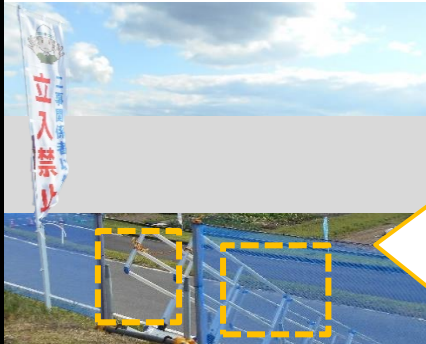
【指摘事項】  
手洗い場の横にライトが置いてありましたので、倉庫で保管して下さい。



【指摘事項】  
玄関マットが段差上では危ないので、固定して下さい。



【指摘事項】  
看板裏に単管がありましたので、資材置場で保管して下さい。



【指摘事項】  
立入禁止の注意喚起旗はありましたが、風によっては見えにくいので、昇降階段出入口のトラロープに立入禁止を明示して下さい。また、昇降階段と分かるように空いたスペースに昇降階段の明示をして下さい。

冬が近づいており、気温差が激しい季節になりました。体調管理が難しい時期ではありますが、感染症にも気を付けていただき、このまま無事故・無災害を継続して工事が進んでいきますことを心から願っています。皆様ありがとうございました。ご安全に！！

